**千葉市若葉文化ホール　感染症予防対策・チェックシート**

令和2年９月２６日改定

利用日：　　　　　年　　月　　日　　利用区分：AM ・ PM ・ NT

利用施設：ホール　/　第1リハーサル室　/第２リハーサル室

下記のチェック項目を厳守し利用いたします。

団体名：

ご利用者様自署：

|  |  |
| --- | --- |
| チェック項目 | チェック |
| 1. 定員の努力目標を“管理者の定める人数”として、人の密度を減らし、ソーシャルディスタンス確保に努めます。
 |  |
| 1. 来場者および出演者（練習の場合は参加者）＜※以下利用者とする＞に、必ずマスクの着用の徹底を促します。※演出の表現上、困難な場合を除く
 |  |
| 1. 利用者には利用施設へ入場する前に、手指の消毒、または手洗いの徹底を促します。
 |  |
| 1. 利用者には、必ず利用当日の検温を促します。風邪の症状や発熱等、体調不良等の場合には、来館自粛を促します。
 |  |
| 1. 利用者の①氏名　②連絡先　③体温　④体調を記載した一覧＜※以下“利用者名簿・健康管理記録“とする＞を作成します。（ホールで体温計のご用意はいたしません）

“利用者名簿・健康管理記録”を利用終了後１か月間保管の上、しかるべき場合に、保健所等へ開示することに同意します。 |  |
| 1. 利用者の接触が起こるドアノブや手すり、テーブル、折りたたみ椅子は、施設利用中、可能な限り消毒ふき取りを行います。（消毒液は主催者でご用意ください）

※利用前に施設スタッフが可能な限りの消毒・清掃を行っております。※ホール所有の楽器、音響機材等への消毒液の吹き付け、ふき取りは厳禁 |  |
| 1. 利用中にはこまめに休憩時間を確保し、休憩時間中にはドア等の開放など換気を十分行い、感染予防に努めます。（施設の空調は外気を循環させております）
 |  |

施設確認者

**＜各施設利用人数の努力目標＞**

ホール：258名以下（ソーシャルディスタンスをとった場合143名以下）

リハーサル室：１０名以下

※催し物内容によってはご利用の自粛を依頼する場合がございます。**（裏面参照）**

 “３密”回避のため、事前に内容確認をさせていただき、内容の変更をお願いする場合があります。

※本チェックシートは千葉県・千葉市等から名簿とともに提出を求められる場合があります。

千葉市若葉文化ホール

参考資料

「密集」「密接」が避けられず感染リスクが高いと思われる下記の項目については、国・県・市等、

また各音楽団体等のガイドラインから**ご利用を制限させていただいたおります。**

※ご利用に関する緩和については、国、千葉県、千葉市による総合的判断からなされます。

あしからずご了承くださいませ。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 項目 | 制限理由 |
| △ | 声楽・オペラ詩吟・民謡・歌謡(カラオケ)等 | 対策を十分に行ったうえで利用可　※注意事項1 |
| △ | 交響楽・管弦楽・吹奏楽 | 密集しての演奏が含まれるため※距離間については担当者に確認下さい |
| △ | 軽音楽・Jazz・タンゴ演奏等 | 対策を十分に行ったうえで利用可※注意事項1 |
| △ | 合唱・コーラス | 密集しての高唱、飛沫感染リスクが高いため(対策を十分に行ったうえで利用可) ※注意事項1 |
| △ | 歌声コンサート | ご来場者様の歌唱による飛沫感染リスクが高いため(対策を十分に行ったうえで利用可) ※注意事項1, |
| △ | 社交ダンス | 身体的接触、発声を伴わない内容については利用可※注意事項2 |
| △ | フォークダンススクエアダンス | 身体的接触、発声を伴わない内容については利用可※注意事項2 |
| △ | その他 舞踊・ダンス | バレエ、Jazzダンス、エアロビクス、HIPHOPダンス等（対策を講じた上で利用可） |
| △ | お笑い・漫才・新喜劇等 | 密接しての会話、来場者の歓声等による飛沫感染リスクが高いため（対策を講じた上で利用可） |
| △ | ミュージカル・演劇 | 密接しての歌唱・演出等が含まれる可能性が高いため(対策を十分に行ったうえで利用可)  |
| △ | 空手・柔道・剣道・合気道・少林寺拳法 | 密接しての感染リスクが高いため（身体接触、発声を伴わない場合は利用可） |
| △ | 囲碁・将棋・麻雀 | 密接しての感染リスクが高いため（対策を講じた上で利用可） |
| △ | 社内研修会等 | 対面でのワークショップ、ディベートなどの密集・密接、決起集会等による社歌斉唱、掛け声による飛沫感染リスク等(対策を講じた上で利用可)  |
|  | その他 | 密接・密集しての演出、また飛沫感染リスクの高い演目が含まれる催物 |
| 注意事項１【発声を伴う活動（飛沫感染リスクの高いもの）】①　マスクを着用し、合唱者間の距離は前後２ｍ以上、左右１ｍ以上確保し、向かい合う配置は避ける　※フェイスシールドのみは不可②　連続した練習は３０分以内とすること③　楽譜・プリントなどの共有を避けること |
| 注意事項２【身体接触を伴うもの（接触感染リスク高いもの）】①　マスクを着用し、特定のペアのみ利用可　※フェイスシールドのみは不可②　連続した練習は１０～１５分以内とすること |